

留萌市立病院 広報誌

いもる

Focus 病院事業管理者 島田 泰美 × 院長 高橋 文彦

Pickup! 院内保育所

Information 全国自治体学会参加など



Vol.19

TAKE
FREE

高橋 文彦 | たかはし ふみひこ

石狩市生まれ、自治医科大学卒。

旭川医科大学、名寄市立総合病院、北海道立羽幌病院などを経て、平成22年より当院の副院長、令和5年から当院の院長を務める。

今回のFOCUSは、病院事業管理者として就任した島田泰美氏と、今年4月より院長へ就任した高橋文彦氏に今後の病院について対談してもらいました。

高：高橋院長

島：島田管理者

イ：インタビュアー

イ…まず当院をどのような病院にしていきたいですか？

高…当院は留萌医療圏の中核病院として役割を果たさなければいけません。そのために一定の機能を維持したうえで、ある分野においては機能をより充実させ圏外への流出を減らすことが目標です。そして地域住民に信頼される病院にしたいと考えています。また職員がやりがいを感じて誇りをもって仕事ができ、研修医や医療スタッフに選んでもらえる病院にしたいです。

島…私もそのように考えています。やはり医師をはじめ医療スタッフなどの職員がやりがいを感じられる職場ということは大事だと思います。

そして市民が当院を頼りにし、必要だと感じられる病院にしたいかないといけないと考えています。

イ…では課題はどのようにお考えでしょうか？

高…課題は非常にたくさんあります。まず地方共通の課題として少子高齢化、人口減少が挙げられます。さらに常勤医が減少していて、医療の提供が必ずしも十分ではないと感じています。医師不足が病院の経営に直結してしまいます。その背景には専門医制度が変わったことや、大学医局の医師派遣能力の低下があります。また医療が高度化・複雑化し、地方に医師が来たがらない原因になっています。医師の都会志向もあると思います。それから看護師不足も深刻です。看護師は患者さんやその家族と一番時間を共有する職種ですし、業務も多岐に渡っていますので、医師同様にタスクシフトを進めて働きやすくやりがいを感じられる職場にしなければならぬと思います。

島…その通りです。その他、事務的な目線からいくと、当院は建設



島田 泰美 | しまだ やすみ

留萌市生まれ。

昭和57年より留萌市職員となる。

水道部、企画振興部を経て、平成17年より留萌市立病院へ就任。

令和4年に留萌市立病院事務部長、令和5年4月から留萌市病院事業管理者となる。

島…バス会社も数は少なく、運転手も減少していて1つの路線が長距離化しています。そのため減便をせざるを得ない状況にあるようです。今後、公共交通のあり方を検討する場へ意見を出していければと考えています。

伊…タクシー助成もありますが、

島…あるのですが、十分だとは言えないかもしれません。タクシー事業者も少なくなっていて、交通面は大きな課題となっています。

その他の課題として、留萌市は今観光事業に力を入れています。外国の観光客も迎え入れたいと考えていて、そこで医療もインバウンドに対応していかないといけないと思います。

伊…現状、課題は多いことがわかりました。では当院の強みはありますか？

高…そうですね、J・Rの廃止もあります。バスが減便になって交通弱者にとっては通院が困難になっています。このあたりは何か良い対策などないのでしょうか。実際、バスが減ったため予約時間の変更をお願いされるケースが増えています。

高…13年前にこちらへ赴任したとき、やる気のある医療スタッフが多いなと感じました。それは今も同様で、医療スタッフ、事務スタッフ共々医師に非常に協力的です。

つまり医師にとって仕事がしやすい環境だと思えます。これがなにより強みです。コロナ禍を通じて感じたことですが、病院の役割を実感しています。つまり地域の基幹病院としてはもちろん、感染症の重点医療機関、災害拠点病院となっていることから無くてはならない病院であるということ再認識しました。この重要性を内外に訴えて強みにしていくべきだと思っています。その他、若手医師にとっては地域の第一線の病院として臨床推論やプライマリケア、救急を学べる環境にあるので、それを病院の魅力として伝えられるのは強みです。

島…私は都市部で問題となっている救急車のたらいまわしを絶対にしない、絶対に受け入れるということだと思います。これは消防から非常に感謝されています。また患者さんや家族と

医療スタッフの距離が近いというのも感じています。例えば患者さんを見たら、スタッフがその人をすぐわかることが多い。これは医療を提供する上で有利になると考えています。ただ、あまりにも近すぎるのを敬遠する声も届いてはいます。しかし、患者として自分の身体のことを理解してくれているスタッフがいるというところは良いのかなと思います。看護師なども地元出身者が多く、地域に対する愛着を持って業務に従事しているのも強みです。

高…患者さんの情報があるということ、医療を提供する上でとても有利です。例えば救急患者が来た際に、過去に当院を受診した人が多く、何らかの「手がかり」がカルテなり画像なりに残っています。そのため早期診断や治療に役立っています。これは都市部の病院と違うところだ

と思います。

伊…病院には「地域に根ざした信頼される病院」という理念があります。が、実現していくためにはどのようなことに力を入れたら良いでしょうか？

高…「言うは易く行うは難し」と言われますが、地域住民の信頼を得るため、安全で質の高い医療を提供し続けることが必要だと思います。なんととってもマンパワーが必要です。

そのため医師をはじめ看護師、医療スタッフの確保にあらゆる手段を講じていきたいと考えています。そして並行して職員がやりがいや成長を感じられながら働けるよう研修や学術的活動を充実させたいと思っています。時間はかかりますが、病院全体が使命感を持って取り組んでいく、良い組織文化を醸成したいです。

島…先ほど話した病院の目指すところと強みを活かして、医療サービスを維持していくということ。それが一番信頼されることにつながると考えています。それがスタッフもやりがいを感じる病院につながっていくと思います。

伊…では高橋院長に質問ですが、島田管理者に対してどのような期待をお持ちですか？

高…はい、今まで笹川（前々）院長と村松（前）院長が管理者と院長を兼ねて非常に大変だったと思います。この度島田さんが管理者となったことは私としては百人力で非常に心強いです。今まで当院の事務部門や、市の保健医療行政の要職を歴任されていますので、この地域の医療については熟知していると思っています。



高橋院長の「手がかり」がカルテなり画像なりに残っています。そのため早期診断や治療に役立っています。これは都市部の病院と違うところだ

留萌地域の医療を守る。だから



そして人脈も幅広いので医療従事者の確保など病院経営には欠かせない存在です。大いに期待していますし、頼りにしたいと思っています。

島…ありがとうございます。

伊…では逆に島田管理者は高橋院長に対してはいかがでしょうか。

島…高橋院長は経験や実績はもちろん、信頼が厚いと感じます。また人脈の広さから他の先生方が当院に高橋院長を頼って来ていただけると嬉しいなと思います。また地域医療に対する熱い思いを強く感じます。今後も留萌地域のために力を貸していただけたらと思っています。私は管理者という経営の立場ではありませんが、病院の運営は院長だと思っています。そこでサポートをしていきたいと、行政に働きかけていきたいと考

えています。そのように二人三脚でやっていけたらと思います。

高…こちらこそよろしく願います。

伊…では最後に地域住民の方々へ一言お願いします。

高…当院の使命として留萌地域の医療を守ることが大きくあります。ただ以前から厳しかったのですが、コロナ禍を経てさらに医師不足、看護師不足が進み、地域の医療従事者が厳しい状態に置かれています。これからは限りある医療の資源を無駄なく、無理なく利用していくことが重要です。地域医療を維持していくためには、行政や病院の努力だけではなく、地域住民の協力が必要だと思っています。その一つとして日々の健康管理や疾病予防、検診を受

けて早期発見、早期治療をするという取り組み組んでいただきたいと思っています。

伊…では島田管理者から願います。

島…まず当院のスタッフへ、コロナ禍の3年間、本当に大変な思いをされたと思います。皆さんの頑張りが無ければこの局面を乗り越えられなかったと思います。本当に心から感謝しています。しかしながら、コロナ禍で落ち込んでしまった病院経営を向上させていかなければなりません。そのため、スタッフの皆さんにまたご苦勞をお掛けすることについて、ご理解とご協力をお願いしたいと思っています。そして地域住民の方々にお伝えしたいことは、留萌市立病院があるということは当たり前のことだと思っ

24時間365日医療を提供しているということはとても大変なことです。市民の命を守るため、病院で働く人がいるということを、少しでも考えていただけたら嬉しく思います。そうすることで当院職員もやりがいにつながると思います。職員も頑張っていますので、応援をよろしく願います。

高…我々も病院のことをより知ってもらうために、情報を発信していきたいと思っています。

伊…お二方とも貴重なお時間をありがとうございました。

島…ありがとうございます。
高…ありがとうございました。



01.安心して働ける職場へ

院内保育所は、当院で働く職員とのお子様のために設置されている施設です。医師や看護師など医療従事者は昼夜問わず仕事と育児を両立しています。そのサポートを行っているのが院内保育所の保育士で、本年2名の保育士が採用され、常勤保育士3名、非常勤保育士4名、保育補助2名の計9名が働いています。また、現在14名のお様が保育所を利用しています。保育所の職員を充実させることで、当院における新たな雇用の創出や定着率の向上に一役かかっています。

02.保育所内の1日のプログラム

	8:00	9:00	9:30	10:00	11:00	11:30	12:30	13:00	15:00	15:30	16:30	17:30	18:30
ひよこ組 産休明けから1歳3か月	開所 順次登所	視診・検温 おむつ交換	午前寝 おやつ	朝の会 おやつ	※設定保育 室内遊び・散歩など	食事準備 おむつ交換	離乳食	排泄・歯磨き おむつ交換	午睡	起床・排泄 おやつ	検温 自由遊び	おむつ交換 順次降所	閉所
こぐま組 1歳4か月から2歳児	開所 順次登所	視診・検温 排泄・手洗い	おやつ準備 おやつ	朝の会 おやつ	※設定保育 制作・戸外活動など	食事準備 排泄・手洗い	給食	検温・排泄 歯磨き	午睡	起床・排泄 おやつ	検温 自由遊び	排泄 順次降所	閉所

※設定保育とは、保育士があらかじめどのような保育を行っていくかを決め、設定した指導案に基づいて保育士が率先して子どもたちを指導する形の保育のことです。子どもたちの発育に合わせて指導案を立てていくため、内容を柔軟に変更していくことができます。

03.保育士から

子どもたちにとっては、お父さんやお母さんと離れて過ごす初めての集団生活の場となるので、安心して心穏やかに生活できるように心がけています。保護者の皆様にとっても、大切なお子様が、仕事中に保育所でどう過ごしているのか、とても気がかりかと思いますが、私たち保育士が寄り添い、見守っていくことを大切に保育しています。また、コミュニケーションあつての保育なので、子どもたち一人ひとりの成長を共に喜び、悩みごとにも一緒に向き合っていけたらと思います。表情も個性も豊かなお子様たちの姿を、日々そばで見守ることは私たちにとっても喜びで、卒所していったお子様が、大きくなった姿で会いに来てくれると本当に嬉しいです。これからも、当院で働く保護者の皆様が、安心してお子様を預けることのできる場であるよう、職員一丸となって精一杯努めてまいります。外で子どもたちを見かけた際には、温かく手を振っていただけると嬉しいです。

私たち保育士が皆様に安心して働けるようお手伝いします！



様々な年間イベント(2023年度)

- 5月…こどもの日
- 6月…おみこし
- 7月…おみこし
- 8月…七夕
- 9月…ハロウィン
- 12月…クリスマス会
- 2月…節分お楽しみ会
- 3月…おひな祭りお楽しみ会、お別れ会
- 各月…お誕生日会 夏…水あそび 冬…雪あそび

わっしょい！
わっしょい！



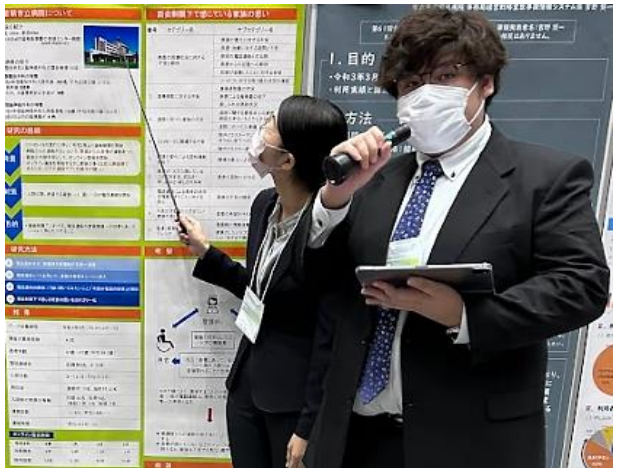
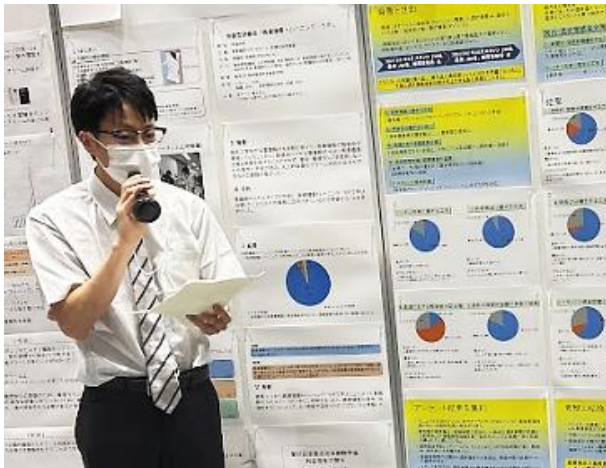
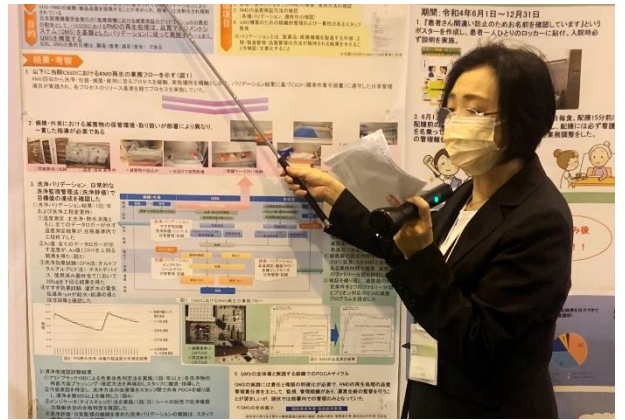
04. お世話になった職員の声

私は3人の娘に恵まれ、今年次女の結婚式でたくさんの笑顔に包まれました。娘の生い立ちを振り返ったとき、0歳から3歳までの写真の大半が院内保育所の風景だったことに気づき、胸が熱くなりました。当時は寿町の海が見える半地下に保育所がありました。小さな子どもたちの泣き顔、笑顔…。娘たちはあまり覚えていないようですが、働くママたちはお世話になったこの場所を忘れることはないと思います。院内に我が子がいるということで、私を含めママたちが働きながら母乳保育を継続できた満足感はとても大きいものでした。もちろん毎日授乳時間が取れたわけではありませんが、搾乳した母乳を届けに行け、小児科受診も順番が来たらすぐに迎えに行ける環境は子どもにも親にもストレスがありませんでした。そして何より保育士さんたちの愛情のこもった保育。1年間の育児休暇を取得する職員が以前は少なかったため、まだ首も座ってない2カ月ほどの乳児から脱走を企てるほどのやんちゃな2~3歳児まで、子育てで一番大変な時期の子を一人一人安全に守っていただきました。時にお迎えが遅くなった時の手作りおじや。大きなカートでのお散歩、お誕生日会、クリスマス会などたくさん楽しい時間を子どもたちに与えてくれました。院内保育所がそこに存在したからこそ子どもたちは安全に成長し、私たち職員も離職することなく仕事と子育てを両立できました。公立病院でこのような院内保育所を設置しているところは少ないため、とても恵まれた環境に置かれていると実感でき、どれだけ感謝してもしきれないほどのありがたみを感じています。あの頃の写真の子どもたちは、それぞれ立派な社会人。脱走犯もお父さんになっているとか。院内保育所の思い出はずっとママたちの宝物です。



全国自治体病院学会に参加しました

8月31日、9月1日の両日、札幌市のコンベンションセンターにおいて全国自治体病院学会が開催されました。当院の臨床工学科からは「人工透析室における感染症対策～クラスターを経験して～」、3東病棟からは「面会謝絶における家族看護の考察～電話連絡を通して見えた家族の心情～」、救急外来からは「救急外来勤務における看護師が抱く不安の要因」、手術・中央材料室からは「品質マネジメントシステム(QMS)に基づく再利用可能医療機器(RMD)の適切な品質管理の実践」というテーマでポスター講演を行いました。演者は緊張の中、当院での研究の成果を存分に発表していました。



職員募集のお知らせ

看護師をはじめ様々な職種を随時募集しています。
現在募集中の職種につきましては、
当院ホームページをご覧ください。
QRコードからも当院ホームページをご覧ください。

留萌市立病院 ホームページ
<https://rumoi-hp.jp/>

